

第70期 中間事業報告書

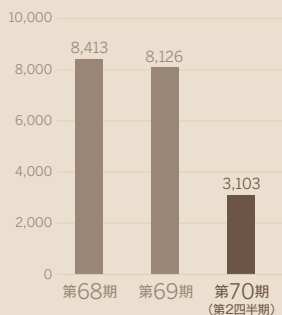
平成22年4月1日▶平成22年9月30日



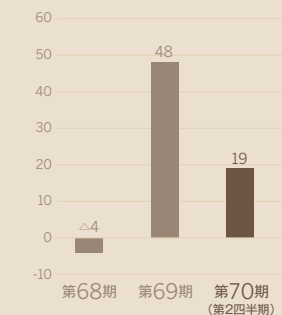
日本出版貿易株式会社

証券コード: 8072

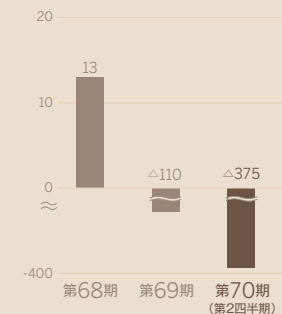
売上高 [百万円]



経常利益 [百万円]



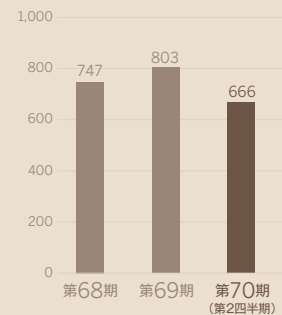
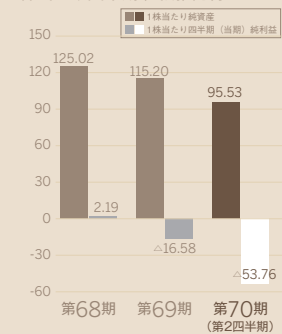
四半期(当期)純利益 [百万円]



総資産 [百万円]



純資産 [百万円]

1株当たり純資産と
1株当たり四半期(当期)純利益 [円]

私たちは文化事業を通じて 国際社会に貢献します

株主の皆様には、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緊急経済対策の効果や輸出に牽引された企業収益の改善などで一部持ち直し始めたものの、先行き不安が解消せず、厳しい雇用状況や加速する円高傾向、さらにはデフレ懸念等もあり不透明感が拭えない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは出版物の輸出売上の拡大、洋書、輸入音楽ソフトの国内販売のシェア拡大、並びに各部署の経費削減を目標に引き続き営業展開を図りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比96.0%の31億3百万円となりました。営業利益におきましては各事業部門共に経費削減に努力し前年同四半期比7千2百万円の減額を実現した結果、4千万円の営業利益(前年同四半期は営業損失2千3百万円)となりました。経常利益におきましては1千9百万円(前年同四半期は経常損失5千万円)となりました。

四半期純損益におきましては投資有価証券評価損3億9千6百万円を計上した結果3億7千5百万円の四半期純損失(前年同四半期は四半期純損失7千1百万円)となりました。

創業70年の節目を迎えました今期は、「私たちは文化事業を通じて、国際社会に貢献します」という経営理念のもと、社員、経営陣一丸となって事業に邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成22年11月
代表取締役社長 庵之下 博文



出版物・雑貨輸出事業

出版物輸出事業ではムック関係雑誌の販売が好調でありました。また米国と欧州市場における日本語学書教材のプロモーション戦略が順調に展開されており堅調に推移しました。英文書につきましては、急激な円高と欧米での景気低迷による消費不振の影響を受け低調な結果となりました。海外大学・図書館向け売上は予算削減、縮小傾向に回復の兆しが見られず、低調に推移しました。雑貨輸出は文具・ステーションナリーを中心に米国市場向けの売上が好調でした。音響関連商品はJ-POP、K-POPの強力盤をレコードメーカー各社がリリースしたことにより邦楽ジャンルでの売上が好調でした。その結果、当部門の売上高は9億7千2百万円、営業利益は3千6百万円となりました。

洋書事業

書籍販売においては、大学向け英語教科書の売上が堅調に推移したものの、ネット書店との競合の激化に加え国内景気の停滞が影響し、書店店頭においてペーパーバックを中心とした売上が低調であり、減収となりました。雑誌販売においては効率販売を目的に送品部数の絞り込みを継続した結果、減収となりました。第3四半期には弊社が販売総代理店となっております「ミシュランガイド 京都・大阪・神戸2011年」、「ミシュランガイド 東京・横浜・鎌倉2011年」(英語版)が発売予定でございますので、それに合わせて新規販売先の開拓を進めることにより洋書の売上増を図って参ります。経費につきましては業務効率化を推進し、人件費、運賃、業務委託費等全般にわたり大幅な削減を実施いたしました。その結果、当部門の売上高は9億7千9百万円、営業損失は5千4百万円となりました。

メディア事業

輸入音響関連の売上高はネット販売の得意先との取引が堅調に推移し、流行の韓流輸入CDの取扱が大幅に増えた結果、増収となりました。また、弊社で総代理権を持っているヨーロッパのクラシック・レーベルも円高状況が大きく寄与しました。利益面におきましては大幅なコスト削減を引き続き実施して、堅調に推移いたしました。雑貨商品の売上は、買い切り企画書籍の書店以外への販売が大きく伸張し、引き続き好調な音響関連の製品も順調に推移しており、堅調に推移しました。その結果、当部門の売上高は10億4千7百万円、営業利益は6千3百万円となりました。

不動産賃貸事業

新日貿ビルおよび日貿ビルの貸室営業は、日貿ビル1階部分のテナントが6月に契約を解約して、解約金として7百万円の営業外収益を計上しております。その他は引き続き堅調に推移しました。その結果、当部門の売上高は8千9百万円、営業利益は4千5百万円となりました。

異文化交流の架け橋になる JPTの国際ネットワーク

当社及び当社グループは、創立以来、わが国の優良出版物をはじめ、伝統文化的な雑貨や玩具などを、世界の国々で活躍する日系在留邦人、日本研究機関、日本人学校などへ輸出するとともに、海外からも優良出版物を輸入してきました。現在、こうした輸出入は、当社と海外主要拠点に配置した当社の子会社、関連会社などを結んだ国際ネットワークを通じて、活発に行われています。

JPT EUROPE LTD.

事業内容

2000年英国ロンドンの三越内に書店として設立。現在は店舗経営だけでなく日本語教材・語学書、英文書、音楽ソフト、日本雑貨品などの卸販売の拡販を推進しております。欧州地域市場の開拓と日本語学書の拡販の成果で経営は堅調に推移しております。

JPT AMERICA, INC.

事業内容

1962年設立以来、日本出版貿易株式会社の米国拠点として日本語教材・語学書、和書籍、和雑誌、日本文化関連英文出版物、ファッション文具、紙製品、デザイングッズ、音響・映像ソフトなどの卸販売を行っております。また、米国製品の日本への輸出、情報収集と本社駐在業務など重要な役割も担っております。

LA Office

日本との輸出入貨物の窓口としての貨物転送業務やニューヨークなど東部地区と南カリフォルニア市場への卸営業を行っています。

CULTURE JAPON S.A.S.

事業内容

1997年に設立されたパリ日本文化会館内に日本文化紹介と日本雑貨・出版物販売の店舗として営業を開始し現在に至ります。日本語普及の為にパリ日本語スピーチコンテストなどの企画と運営を協賛しております。その結果、フランス国内大学からの日本語教科書の採用による注文も拡大しております。

HAKUBUNDO, INC.

事業内容

ホノルルを拠点とする和雑誌・和書籍、日本伝統品、文房具、日本語関連出版物、音楽・映像ソフトの小売と卸販売を行っています。

(株)日貿出版社

事業内容

水墨画・水彩画等の趣味、実用書を中心に出版を行っており、全国の書店や海外からも好評を得ています。

海外売上高

912 百万円

連結売上高に占める海外売上高の割合

29.4 %

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,870	4,200
固定資産	2,042	2,199
有形固定資産	1,529	1,543
無形固定資産	43	49
投資その他の資産	469	606
資産合計	4,913	6,400

科 目	当第2四半期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	3,486	4,701
固定負債	760	894
負債合計	4,246	5,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	430	430
資本剰余金	195	195
利益剰余金	△ 376	△ 0
自己株式	△ 5	△ 5
株主資本合計	244	619
評価・換算差額等合計	422	184
純資産合計	666	803
負債純資産合計	4,913	6,400

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,103	3,233
売上原価	2,421	2,542
売上総利益	682	690
販売費及び一般管理費	642	714
営業利益又は営業損失(△)	40	△ 23
営業外収益	16	9
営業外費用	36	36
経常利益又は経常損失(△)	19	△ 50
特別利益	4	7
特別損失	396	56
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 372	△ 99
法人税等	2	△ 28
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 375	—
四半期純損失(△)	△ 375	△ 71

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 94	121
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3	△ 107
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 343	35
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 4	6
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 446	56
現金及び現金同等物の 期首残高	991	665
現金及び現金同等物の 四半期末残高	544	722

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

Topic 1

偉大な指揮者たちの名演奏集

Die grossen Dirigenten

CD40枚組豪華ボックス仕様(数量限定入荷商品)

クラシック・ファン垂涎！ドイツの出版社が企画した空前のクラシック・スペシャルボックスです。

アバド、バレンボイム、バーンスタイン、ブーレーズ、チェリビダツケ、フルトヴェングラー、アーノンクール、カラヤン、クーセヴィツキー、クーベリック、レヴァイン、オーマンディ、ラトル、ライナー、シエルヘン、ストコスキ、セル、トスカニーニ、ワルター、ヴァントといった20名の偉大なる指揮者たちの名演奏をそれぞれ2枚のCDに収録した企画盤。

ドイツグラモフォン、EMI、ソニー、RCA、ワーナーなどのメジャー音源をふんだんに使用しており、これだけのレーベルを超えた内容はそうそうお目にかかれません。



Topic 2

英国の日本ポップカルチャーイベント
HYPER JAPAN London 2010

英国の日本ポップカルチャーイベントであるハイパージャパン・ロンドン2010(HYPER JAPAN London 2010)が、10月1日(金)~10月3日(日)の3日間、英国ロンドンのトレンド発祥地ブリック・レーン・エリアで開催されました。当社は日本側事務局として日本企業の出展・物流をサポート。また英国子会社であるJPT EUROPE LTD. ではロンドンの小売店舗であるJP-BOOKSとしてブースを出展すると共に、日本からの出展企業の販売業務協力を行う等、JPTグループをあげての協体制で臨みました。

会期中は、現地の若者を中心に20~40代の社会人や家族連れなど様々な世代が集まり、来場者数は当初の見込みを上回る延べ12,951人、入場を待つ人々の行列は約500人に及びました。会場内は、工夫をこらしたカラフルなコスプレイヤーやロリータファッションに身を包む若者で賑わい、活気に満ちたイベントとなり、新しい形の日本のカルチャーイベントとして、大盛況のうちに第1回目を終了しました。

当社は今後もHYPER JAPANを通じ、日本のポップカルチャーを英語圏の中心であるイギリスから世界発信することにより、英国圏での需要拡大を図ると共に、JPTグループのビジネス拡大を目指しております。



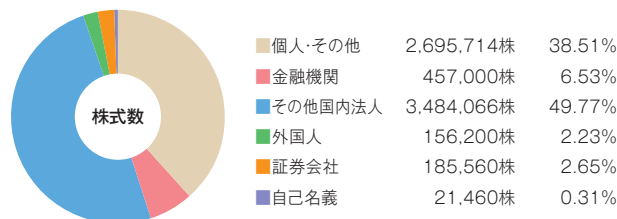
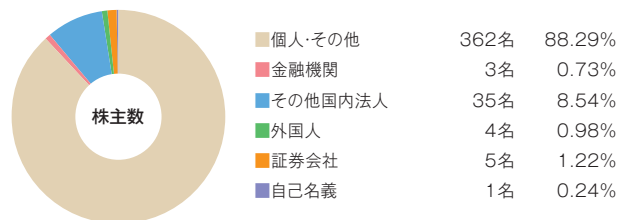
株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,000,000株
株主数	409名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社トーハン	1,500,000	21.49
中林三十三	1,044,000	14.96
丸善株式会社	700,000	10.03
株式会社講談社	554,000	7.94
ファーストインベスターズ株式会社	286,000	4.10
株式会社三井住友銀行	240,000	3.44
濱田聖史	164,000	2.35
株式会社りそな銀行	147,000	2.11
クリック証券株式会社	111,000	1.59
日本出版貿易取引先持株会	92,000	1.32

所有者区別株式分布状況



会社概要

商号	日本出版貿易株式会社
代表者	代表取締役社長 庵之下 博文 代表取締役常務 綾森 豊彦
創立	昭和17年1月28日(1942年)
資本金	430,000,000円
従業員数	113名
本社所在地	〒101-0064 東京都千代田区猿楽町一丁目2番1号
営業所	大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区 西中島三丁目12番15号 第5新大阪ビル5階 九州営業所 〒810-0012 福岡市中央区白金一丁目3番15号
事業内容	書籍、雑誌等一般出版物、学術文献、各種教材、音楽関連ソフト及び雑貨品等の輸出入並びに国内販売。不動産の賃貸及び管理。

役員・監査役

代表取締役社長	庵之下	博文
代表取締役常務	綾森	豊彦
常務取締役	近藤	隆一
取締役相談役	中林	三十三
非常勤取締役	鈴木	仁
常勤監査役	中村	五郎
監査役	片岡	義正
監査役	藤井	武彦

子会社・関連会社

JPT AMERICA, INC.	HAKUBUNDO, INC.
CULTURE JAPON S.A.S.	株式会社日貿出版社
JPT EUROPE LTD.	

ホームページのご紹介

当社では、会社案内をはじめ取り扱い商品、IR情報の他、様々な情報をお伝えするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。

<http://www.jptco.co.jp/>

耳寄り情報

当社で取り扱っている商品を耳寄り情報としてご紹介します。

グレート・クラシカル・マスターワークス
／ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団

クラシックの殿堂ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団の有名曲ばかりを集めたボックス・セット、なんと30枚組です。



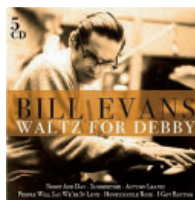
ワーグナー、マーラー、ストラヴィンスキー、R. シュトラウス、シベリウス、ショスタコーヴィチ、バーンスタイン等々、ピギナーにもおなじみの有名作曲家の名曲がギッシリと収録されています。ロイヤル・フィルならではの名指揮者がズラリとクレジットされているのも、熱心なクラシック・ファンには嬉しいところでしょう。ドイツMEMBRAN社より発売中。

ワーグナーのオペラ大全集
／クナッパーツブッシュ、カラヤン、カイルベルト他

クナッパーツブッシュ、カラヤン、カイルベルトといった巨匠たちによる記念碑的な録音をふんだんに収録した、これぞワーグナーのオペラの全て、なんと43枚組！ハイライトとなるクナッパーツブッシュ&パイロイト「バルジファル」、カラヤン&パイロイト「マイスタージンガー」、クラウス&バイエルン「さまよえるオランダ人」、カイルベルト&パイロイト「ローエングリン」、フルトヴェングラー&フィルハーモニア「トリスタンとイゾルデ」他、いずれも巨匠たちの全曲コンプリート収録という、ワーグナー作品前代未聞のフル・パッケージを実現しています。ドイツMEMBRAN社より発売中。



ワルツ・フォー・デビイ／ビル・エヴァンス



ピアノ・ジャズの巨匠ビル・エヴァンスの5枚組録音集です。モダン・ジャズの歴史を塗り替えた決定的名盤アルバム「ワルツ・フォー・デビイ」のタイトルをそのまま冠した各セット・ディスクに、59曲もの貴重音源を収録。天才ピアニストと謳われたビル・エヴァンスのミステリアスな鍵盤タッチの魅力に迫ります。オランダWETON WESGRAM社より発売中。

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 そのほか必要があるときは、予め公告いたします。
公告方法	当社の公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。 ※電子公告アドレス http://www.jptco.co.jp/

当社の株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関である株式会社だいこう証券ビジネスは、平成23年1月1日をもって、会社分割により三菱UFJ信託銀行株式会社へ証券代行業務を移管いたします。

つきましては、株式に関する各種お問合せ先等が以下のとおり変更となります。

平成22年12月30日まで

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関 株式会社だいこう証券ビジネス

- 【郵便物送付先／各種お問合せ先】 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター
- 株式事務に関するご照会 電話 0120-255-100(通話料無料)
 - 特別口座に関するご照会 電話 0120-351-465(通話料無料)
(受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日を除く))

平成23年1月4日以降

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

- 【郵便物送付先／各種お問合せ先】 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 各種事務に関するご照会 電話 0120-255-100(通話料無料)
(受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く))

株式に関するお手続き

- 株券電子化に伴い、株主様からの各種お申し出・お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関にご相談ください。
- 特別口座に記録された株式に関する、各種お申し出・お手続きにつきましては、上記特別口座管理機関にご相談ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8072

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



日本出版貿易株式会社

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町一丁目2番1号
TEL:03-3292-3751 <http://www.jptco.co.jp/>

